

平成18年度外国語学部卒業論文

英語学科

- | | |
|-------|--|
| 松本紗衣子 | What Hurricane Katrina has Left in New Orleans |
| 村松まどか | FIRST STEP FORWARD HAND IN HAND —Changes in Policies on Japanese Women and their Social Standings in Early Occupation Period after WW II |
| 小倉 徳子 | A Gay Film Power |
| 丹治 恵 | 怒りを忘れた日本人—原爆と反米感情 |
| 福島 正雄 | Theory of Input Processing and Its Application to Classroom Language Pedagogy as Processing Instruction |
| 河村秀太郎 | G H Qによる日本人女性の性的搾取 |
| 坂上 友理 | The “Power of People” on the Streets - Conflict between Street-Kamishibai and the Authorities from 1930's to 1960's - |
| 倉田恵理子 | 心にしみるチキンスープ (卒業翻訳) |
| 梅原 由紀 | P. S. 愛してる (卒業翻訳) |
| 石井 雅子 | The Intimate Enemy (卒業翻訳) |
| 田邊 弥生 | 母音と子音— Vowels and Consonants — (卒業翻訳) |
| 吉井扶美子 | The Human Organism 人体 (卒業翻訳) |

ドイツ語学科

- | | |
|-------|--|
| 武内 啓恵 | Die Geschichte der Immigranten in Österreich
Fremdenfeindlichkeit und Probleme der Türken |
| 乾 麻美 | 東ベルリンの世界 ～映画が語る歴史、その真意～ |
| 松久 直子 | ドイツにおける移民統合の課題と展望
—移民政策への転換がもたらす影響— |
| 望月 智治 | マーケティング手法としての「見本市・展示会」 |
| 諸岡 美紀 | Neo Rauch ～Die Rolle der Leipziger Schule in Neo Rauchs Kunstform und das Rätsel seines Erfolges auf dem internationalen Kunstmarkt～ |
| 斎藤 未来 | 人と世界遺産の共存方法 ～ケルン大聖堂の例～ |

フランス語学科

- 江沢 淳 受動態に成らない直接他動詞の研究 Analyse de Verbes Impassivables
- 植木 智也 現代社会を診断する：ベルナール・スティグレールの概念を通じて
- 津田 洋子 フランス語の比較表現における「moins」の持つ性質について
- 原田 なぎ 文学作品内の創作言語とその翻訳及び文化との関連性
- 石毛 健嗣 植物の概念メタファーに関する日仏語対照比較
- 大木 綾子 使役表現と授受表現の日仏対照比較「せる、させる」と《faire＋不定法》、「てもらう」と《se faire＋不定法》

イスパニア語学科

- 大森 苑美 La Coca Colarización de México — そのうらに見られるメキシコ人の誇り—
- 大場 樹精 Corona Extra investigaciones de su popularidad y la imagen de México
- 能重 友美 アメリカのヒスパニック—虚構のアイデンティティ—
- 伊藤明日香 メキシコ豚肉産業と日本
- 豊田 唯 ムリーリョの聖幼児図像—そのメッセージと魅力—
- 大内田 景 『カプリチオス』における第43番「理性の眠りは怪物を生む」—版画作品からみたゴヤの幻想世界と創意—
- 古谷 麻澄 チリにおける所得格差是正について—教育の質と公平性に関する考察—
- 松本 美紀 丁寧表現の日西比較—依頼の場合について

ロシア語学科

- 井出裕加吏 1970年代～90年代のソ連における女性像の変遷 —時代の断面を描いたエリダル・リャザーノフの3作品を例に—
- 笹木 悠子 ペレストロイカ以降のサンクトペテルブルグ市における市民生活の変化
- 関 宏太郎 人事にみるエリツィン政権とプーチン政権の比較研究

内山奈津美	ロシア伝統のバレエの継承と発展 —ボリス・エイフマンの作品を例に—
矢野真紀子	リッツキーの空間造形の研究 —「プロウン」の内立性
秋葉 千絵	動詞の体の教授法 —学習者の認知スタイルに合わせて—
東川 愛	演劇とサーカスの融合 —「民衆喜劇座」の試み—
今泉 雄太	ハルムスの児童文学創造の変遷
須賀 由貴	ノルシュテインの映画技法 —エイゼンシュテインとの比較—

ポルトガル語学科

江川 智子	作り出されるブラジル人の美しさ～ミスブラジルの考察～
井上 太介	ポルトガル語系ピジンの発生とその使用地域の拡大に関する一考察
岩崎 愛	ブラジル選挙における電子投票システムの導入～発展途上国における選挙の透明性への試み
下保 美涼	州立初等教育学校からみるブラジルの初等教育の現状と展望
川端 武生	世界の敵：アメリカー日本とキューバの野球界から見て—
菊地 恵子	ブラジルのテレビ放送が描き出す黒人像
舩方周一郎	ブラジル難民政策—模範的難民保護国家への可能性—
田村 綾子	現代ブラジル若者の恋愛観と家族の将来像
田村 陽子	ラテンアメリカからの移民—ヨーロッパ・アメリカ・日本を事例に—
小林 友子	ブラジルにおける地球温暖化防止対策—発展途上国としての試み—

国際関係副専攻

山中 旭代	多民族社会イギリスにおける、パキスタン人移民の現状—教育と職業面に着目して—
西山美由紀	中国の農村部における政治社会問題
大森 哲也	ヘゲモニーの存続と終焉—シンガポール、マレーシア、

	台湾を比較してー
坪田 裕香	アメリカにおいて女性大統領が誕生していない背景の考察
安部 美保	ルワンダ再生における女性の役割
岩下真梨子	私たちを平和と逆方向に向かわせるものは何なのかー戦後の日本・ドイツのあゆみをたどりー
井上由喜子	階層を昇りつめる女性ーフランス移民女性の新しい側面を探るー
小泉 綾香	フランス第三共和制におけるポピュリズム台頭の起源に関する考察ー共和制と愛国心の変遷ー
山岸 龍太	移行経済戦略にみるベトナムの国家像ー中国との比較による考察ー
野田麻里子	国のハザマで揺れる人々ードミニカ移民の生活史ー
滝谷 茜	参加型民主主義へーブラジルと日本、予算への取り組みー
石澤 夏海	階層帰属意識における日欧国際比較ー服装の観点からー
貝原 正貴	グローバルスタンダードとしての企業倫理と企業の社会的責任
鈴木 健吾	グローバル化と日本における外国人子弟の教育問題
戸田 幸裕	企業の社会的責任論に見えるグローバリゼーション
高橋 和之	地球温暖化問題に関する政策の決定要因と傾向ー日本、EU、アメリカの政策展開を手がかりにー
畑中 一平	農村青年とシベリアの「学校」ーシベリア「民主運動」の意味ー
斉藤 直子	1987年以降のパレスチナ人の抵抗運動の変遷とイスラエル社会の意識変化
佐藤久仁子	Pakikisamaなフィリピン人が日本へー日本で働くフィリピン人労働者の現状からみる看護師・介護士の受け入れについてー
松本奈央子	地球環境問題とグローバル・ガバナンスーレジーム形成過程と国際機関の取り組みー
松田 裕子	EUの地域政策「持続可能な発展」をめざして
大谷 友里	利益か人命かー特許のグローバル化と医薬品アクセス問

題一

- | | |
|-------|---|
| 河野 要 | 移住労働者自身の主体的活動と日本社会 |
| 沼崎 武治 | 派遣労働者と労働組合 |
| 石井 浩平 | 正当化のパラダイムの考察：地域紛争への国際社会の介入における「人道」の概念の社会的構造 |

言語学副専攻

- | | |
|-------|---|
| 中川美奈子 | 言語研究の歴史と言語学の未来 |
| 米山 奈緒 | 無生物主語他動詞文から分析するフランス語と日本語の概念構造と表層構造 |
| 安齋 希美 | 所有者昇格の制限条件と格について |
| 村上 明 | The Transition of English Education in Japan and Its Implications on Future Education |

アジア文化副専攻

- | | |
|-------|--|
| 西田 純子 | パラオとヤスクニ |
| 粕谷麻里乃 | イラン社会にみる女性のヴェールへの価値観とその変遷(イスラームとジェンダー) |
| 杉田 進 | ベトナム特有の市場経済メカニズムの導入についての研究 |
| 猪股 大輝 | 華人とチャイナタウン～日本とシンガポールを例として～ |
| 内藤 豪 | The Environment and the History of the Peoples of Central Asia: The importance of understanding one's heritage in modern societies |

平成18年度大学院外国語学研究科修士論文

外国語学研究科

国際関係論専攻

- | | |
|----------|--|
| 花田 雄師 | 冷戦後の米露間の軍備管理交渉の展開—A B M条約の失効からモスクワ条約締結における米露間交渉に与えた要因についての考察 |
| 伊達 健吾 | 移行経済における民営化政策—チェコとハンガリーの事例比較— |
| 遠藤 朋美 | 現代フランスの移民政策—サン・パピエの正規化を巡る政策の変遷 |
| 岩松 恵 | E C/E Uの政策形成とドイツ国内機構制度の特徴 |
| 嘉藤 達郎 | レーガン政権期の対リビアテロ戦争とワインバーガー・ドクトリン |
| 近藤 恭正 | 原潜解体における日ロ間協力の問題 |
| 劉 定奇 | 台湾経済と産業空洞化問題—「空洞化対策と対中投資規制」を検証する— |
| 茂木 美海 | 沖縄における安全保障言説の階層性と収斂過程 |
| 元重 敦次 | 小型武器問題とその対策
—紛争終了後の治安部門改革を例として— |
| 登 健太郎 | 日本の憲法論争における「国益」と「役割」—「中東国会」の分析を中心に— |
| ノーマンド ケン | アルゼンチンの経験に見るラテンアメリカの社会保障制度—Plan Jefesの持つ可能性— |
| 大山 康成 | 「ドロップショット」への道
—米英による対ソ集団安全保障体制の構築— |
| 佐藤 哲朗 | 危機管理における軍事力の効用と限界—なぜ英国はフォークランドでの危機管理に失敗したのか— |
| 添ノ澤温子 | 途上国における水道事業民営化の現実と可能性—アルゼンチンを事例に— |
| 杉野 誠明 | シュレーダー政権下のドイツ外交・安保政策—シベリアン・パワー論との適合性を検証する— |

- 八杉 哲司 再考「朝鮮戦争の勃発と情報の失敗」—「C I A情報報告書」を手がかりとして—

言語学専攻

- 裴 哲求 The Effect of Focusing on Vocabulary in Content-based Classes : what kind of differences does a content-based class make in terms of content comprehension, vocabulary acquisition, and changes in learners' perception, compared to a non-vocabulary-focused content-based class ?
- 藤田 千里 電話における失語症者の会話構造および発話機能の分析
- 平井 麻世 The interlocutor's influence on ESL and EFL speakers in discussion context
- 井上ゆきの Sloppy Identity Readings in Japanese Null Object Constructions
- 香川 麻耶 失語症者における呼称障害と意味的・音韻的障害の関係—呼称課題と復唱課題の成績比較—
- 金子 陽子 若年失語症者への支援—若い失語症者のつどいでの調査から—
- 高良 藍 学童期における書字作文能力の発達—話しことばから書きことばへ—
- 真崎 美穂 呼称における失語症者の自己修正行動
- 宮本 亮 The Structure of the Te-moraw Construction
- 成田 広樹 A "Project Both" Perspective on the Covert Movement in Japanese Head-internal Relative Clauses
- 西島菜穂子 フォルマント遷移速度がカテゴリー知覚に及ぼす影響—健常者と失語症例の検討—
- 西崎 悠馬 Exceptional WH Constructions in Japanese
- 大石 斐子 呼称課題と談話課題における失語症者の名詞想起能力の比較
- 恩田 成章 The Effects of Practical Self-study in the Development of High School Students' English Proficiency

- 坂口 良 Anticipation in Consecutive Interpretation
 坂本 恵 L'INTERFÉRENCE PROSODIQUE DANS LES
 PHRASES INTERROGATIVES DU FRANÇAIS
 PRONONCÉES PAR DES APPRENANTS JAPONAIS
 東野 悠理 聞き手の吃音知覚における持続時間の特性の効果
 富岡 洋輔 Processing Japanese Double-object Active and Passive
 : A Competition Model Based Study
 菟原 萌美 Anwendungsmöglichkeit des Münchner DaF/DaZ
 Unterrichtsmodells auf den JSL-Unterricht in Japan
 山崎 裕平 Relatives with Indefinite Pronouns in Japanese
 横山 智子 加齢とリクルートメント現象が音響的キューの判断に及
 ぼす影響—持続時間短縮加工を施した日本語特殊音節の
 促音を用いて—
 井村 祥子 L'analyse de la polysémie de la préposition *SUR*
 —Au point de vue de la linguistique cognitive—

地域研究専攻

- 阿部 祐樹 エジプトにおける福祉の概念と福祉政策の変容—中世社
 会と近現代社会の福祉問題の比較の視点から—
 岩田 直樹 フィリピンの伝統社会における大甕の役割—考古資料と
 民族誌資料からの考察—
 日下部尚徳 NGOと住民—バングラデシュ・ハティア島における
 NGOの軌跡—
 関 佳奈子 19世紀末～20世紀初頭のメリーリャにおける異教徒の混
 住—1887年と1904年の住民基本台帳を素材として—
 菊池 啓明 文化遺産と住民—アンコール遺跡群を事例として—
 久保真紀子 ナーガ装飾から考察するアンコール・ワットの建設工程—
 タイポロジーに基づく編年試案—
 熊手あゆみ 辺野古の反対運動における住民意識の形成—「おじい・
 おばあ」の生活誌から—
 前野 敦史 メキシコ映画における「近代」の表象—*Víctimas del*

*Pecado*を中心に—

EKO SASONGKO PRIYADI Indonesian Workers in Japan: A Social
Profile and Study of Survival Strategy

- 才本 淳子 国境を越えるエクアドル人—アンデス・キチュアの選択—
佐藤 恵利 仏足跡の伝播とその地域的特性—カンボジアに現存する
大型仏足石を中心に—
佐藤 恵子 アンコール大型人工貯水池群における「水位計」の再考
察—西メボンを事例として—
島田 礼奈 内戦終結後のグアテマラ政治—軍部・右派政党の政治行
動分析—
高田 麻貴 『街』の変遷を通して見た日系社会—サンパウロのマル
チエスニック「東洋街」を事例に—
高橋 佐知子 ペルーにおける女性労働とジェンダー役割—衣服小零細
企業集積地の事例から—
竹村 有未 NGOによる先住民アイデンティティを利用した脱周縁化
の試み—マレーシア・サバ州の先住民社会を事例として—

平成18年度大学院外国語学研究科博士論文

国際関係論専攻

草野 大希 主題：20世紀初頭の西半球におけるアメリカの介入政策
と秩序形成

副題：複雑システム理論による国際政治分析の試み

根岸（旦）まゆみ A Study on the Reform of Corporate Retirement
Benefits; US-Japan Comparative Institutional
Analysis
(企業退職給付の制度改革に関する一考察— 日米
比較制度分析の視点から)

言語学専攻

青柳真紀子 Perceptual Effects of Vowel Devoicing and Reduction in
Japanese

都田 青子 Phonological patterns in Japanese speech errors

秋山 正宏 Multiple Nominative Constructions in Japanese and the
Theory of Derivational Economy : Attract/Move Closest ,
Attract/Move Smallest and Merge-over-Move

地域研究専攻

武田 和久 ラプラタ地域とイエズス会布教区—軍務に伴うグアラニ
ーの離散、自立、地域形成への関与—

平野 裕子 港市オケオの形成と展開—東南アジア域内交流の複合化
の過程とメコンデルタ開拓史—

AUGUSTINE SALI Communal Cleavages and Civic Relations:
Political Analysis on Hindu-Muslim Riots in India,
based on the 1989-Bhagalpur Riots in Bihar

TIN TINA An Integrated Approach to the Management of Cultural
Heritage in Koh Ker Site (Preah Vihear Province,
Cambodia)

2007 年 3 月 6 日 印刷
2007 年 3 月 10 日 発行

上智大学外国語学部紀要 41
(非売品)

編集委員 委員長 C. ヴェリヤト
加藤 泰彦
坂本 光代
永田 ザビーネ
G. メランベルジェ
E. ガージェゴ
M. ネーヴェス
吉住 エレーナ
D. ウェッセルズ

発行者 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学外国語学部